

社会福祉法人 清水あすなろ福祉会
平成26年度 風の子保育園 事業計画

風の子保育園のめざすもの（運営理念）

- ① 子ども達が自然の中でのびのび育つことのできる保育園
集団の中で一人一人が大切にされ、自主性と社会性を見につけ豊かな感情と思考力の発達をめざした保育を！
- ② 産休明けから就学まで、年齢・障がい・保育時間を問わず、保育を必要とする子ども・保護者・の立場にたった保育の創造をめざそう！
- ③ 父母・職員・後援会・地域住民がひとつになって、皆でつくり皆で育て地域から愛される保育園に！
- ④ 子ども・父母・職員の立場を大切にし、皆の財産である保育園を民主的に運営しよう
- ⑤ 保育をめぐる様々な要求を大切にし、その一つ一つを子どもと保育を必要とする父母の立場に立って、実現できるよう、保育運動を発展させよう。

事業計画

新システムについては、現状の施設型給付の保育園でいくのか、認定子ども園としていくのか7月には意向調査があり結論をだします。

風の子保育園の成り立ちと公的保育制度を保障するという立場に立つ時、保育所を選択し、その時予測できることを考え、保護者にもアンケートをとり実態調査をしていきたいと考えています。

例年どおり1歳児の入園希望は多く、4名の枠に14名の申込みがありましたが、今年度1歳児にダウン症のIちゃんや心臓疾患をもつK君を受け入れ0・1歳児混合保育を行いながら柔軟な保育体制をとっていききたいと思います。また、3歳児にY君（ダウン症）が保育体験として年間通園します。新規採用職員2名を迎え、保育経験5年未満の職員が8人となり、若い職員の研修を積極的に考えていきます。

地域事業については、今年度実績のもと引き続き保育体験と預かり事業を行っていきます。

国、県、市の動向を積極的につかみ、新システムの移行と風の子保護者実態とてらしながら、学習と提案を運営会・法人事務局にしていきます。

- ① 保育所を選択した場合に考えられることを保護者実態と合わせて考えていきます。経営問題とあわせて検討しながら5月には意向を決定したいと思います。今年度、クラス主任を保育情勢部会に位置づけ強化し、学習しながら保護者をまきこんで取り組みたいと思います。
- ② 園長、副園長、主任が昨年同様に給食・乳児・幼児に指導的立場で入り、保育理念「一人ひとりの育ちを大切にしよう」を実践していきます。
- ③ 新規採用職員（保育経験5年未満）が増えるなか若手職員をどう育てていくのかは課題です。前年度のリトミック体操（幼児）は継続し、絵本・発達の学習・全国保育園団体合同研究集会に提案参加など積極的な学習を位置づけていきたいと思います。